

Pursuing Our Responsibilities to All Stakeholders

すべてのステークホルダーに対する
責務を遂行

- ▶ CSRへの取り組み
- ▶ コーポレートガバナンス
- ▶ 経営体制



CSR (企業の社会的責任) への取り組み

東京ガスグループは、「快適な暮らしづくり」と「環境に優しい都市づくり」に積極的に貢献し、あらゆる事業活動を通じ、お客さまや株主、地域から信頼される「企業グループ」として、社会とともに「限らない発展」を実現すべく、企業活動を進めています。

東京ガスと環境

環境負荷の低い天然ガスの供給を事業展開のコアとして

他の化石燃料に比べてクリーンなエネルギーである天然ガスの供給を事業の核とする東京ガスグループは、環境経営のトップランナーとなることを目指し、事業活動のさまざまな場面で環境保全を意欲的に推進。環境保全活動の推進とビジネスの拡大を可能にする技術の開発・普及をはじめ、資源の有効利用、地域社会との環境パートナーシップの強化などを通じ、環境負荷の低減に努めています。



COMMUNITY

- 温暖化防止対策のための天然ガスコージェネレーションシステムの普及促進と高効率機器の開発・商品化
- 大気汚染防止に効果的な天然ガス自動車の導入促進
<当社エリア内の2003年度末累計導入実績：8,368台>



コミュニティーバス
府中市に導入された天然ガスコミュニティーバス
<2003年度に約13台一斉導入>

- 地域・団体との連携と各種展示会・イベントの開催・参加
- 小中学校へのエネルギー・環境教育支援



出張授業
小中学校を対象にエネルギーや環境をテーマにした出張授業を行っています。
<2003年度末までに約9万人受講>

■ エコライフの推進

- 環境報告書の発行
- 企業館
 - ・環境エネルギー館
 - ・ガスの科学館
 - ・ガスミュージアム



- ISO14001全社取得に向けた取り組みの推進
- 親子講座や講演会など環境意識啓発のための教育を実施
- 関係会社の環境マネジメントシステム導入支援
- コスト・品質・納期の条件に環境性の観点を加えたグリーン購入の推進

- 人権研修
- コンプライアンス研修
- 育児関連制度 (育児休職制度・育児勤務制度 など)
- 介護関連制度 (介護休職制度・介護勤務制度 など)
- ボランティア関連制度 (ボランティア休暇・ボランティア休職 など)



エコ・クッキング®
環境に対する意識の向上を目指し、一人ひとりが身近に取り組めるエコライフの視点から食生活を提案する「エコ・クッキング」を提唱。各種講座の開催や冊子の発行、ホームページの開設などを通じ、環境に配慮した食生活の輪を広げています。今後は、行政各機関、学校、企業などと協力し、さらなる活動を促進していきます。
<2003年度末までに約4万人受講>

東京ガスと社会

社会に信頼され続ける企業グループを目指して

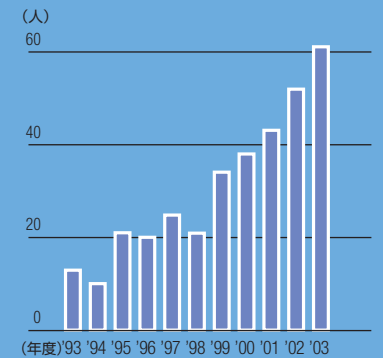
日常生活に不可欠なガスの供給を事業とする東京ガスでは、安定供給と安全確保が何よりも重要な責務だと考えています。原料の安定調達はもちろん、製造・供給・使用のすべてにおいて万全な防災設備を整え、安全性を追求。いつでも安心してガスをご利用いただけるよう努力を重ねています。また、地域やお客さまとの信頼関係構築のために、社会貢献活動も積極的に展開しています。

地震対策

東京ガスが独自に構築した世界で最も高密度リアルタイム地震防災システム「SUPREME」では、自動遮断と遠隔操作遮断を併用することにより、24時間体制で二次災害発生の危険度を大幅に低減させる対応が可能です。



育児休職取得者数



TOKYO GAS GROUP

投資家や金融機関が企業に投資する際、業績だけでなく環境や社会性から評価する社会的責任投資(SRI)の重要性が高まっています。東京ガスは「ダウジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)」をはじめ、数々のSRIインデックス、SRIファンドに採用されています。

東京ガスが採用されているSRIインデックス
Dow Jones Sustainability Index (DJSI)
FTSE4Good
Ethibel Sustainability Index
MS-SRI



コーポレートガバナンス

長い歴史の中で培ってきた「安心・安全・信頼」のブランド価値を守り、向上させるため、東京ガスグループではより高い目標を目指し、コーポレートガバナンスとコンプライアンス（法令遵守）の強化に取り組んでいます。

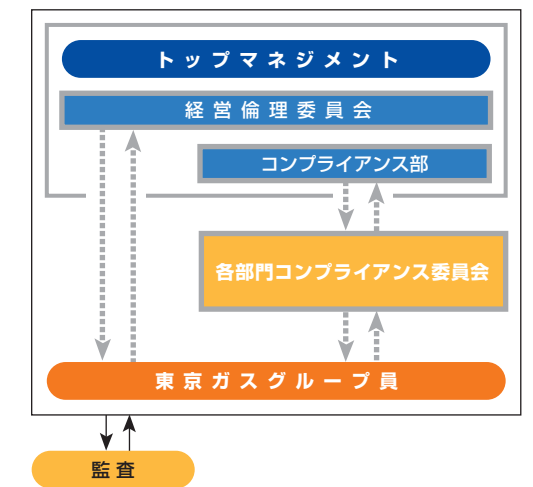
コーポレートガバナンスについては、2002年6月に取締役数の大幅な削減や任期の短縮、社外取締役の選任を行い経営に対するチェック機能を強化しました。さらにガス業界で初めて執行役員制度を導入し、意思決定の迅速化と業務執行の効率化を図っています。こうした体制面の整備を基礎に、当社は今後とも取締役会の活性化や公平な情報開示に努め、経営の透明性をより一層高めていく考えです。また、グループ全体のリスク管理規則を制定し、リスク管理体制を強化しています。

コンプライアンスに関しては、東京ガスグループは公益性の高い企業グループであることを自ら認識し、これまでもその徹底に力を注いできました。当社では昨年度新たに構築した推進体制

のもと、改定した経営理念に基づき個人レベルの行動基準を策定し、一層の徹底を図りました。今後はこの行動基準をグループ全社員に浸透させ、コンプライアンスマインドを高めていきます。

具体的には社長が委員長を務める経営倫理委員会が基本方針を示し、それを各部門が実行。その実行状況も含めて監査部がコンプライアンス監査を行い、抽出された課題を反映させ方針を見直しています。このサイクルをグループ全体でも確実に展開し、お客さまに信頼され続ける企業グループであることを目指します。

コンプライアンス体制



取締役



佐藤 行雄
取締役（社外）

今野 由梨
取締役（社外）

茂木 友三郎
取締役（社外）

上原 英治
代表取締役副会長

安西 邦夫
代表取締役会長

市野 紀生
代表取締役社長
兼 社長執行役員

鳥原 光憲
代表取締役
兼 副社長執行役員

社長補佐、
コーポレート・コミュニケーション本部長、
コンプライアンス部担当

草野 成郎
代表取締役
兼 副社長執行役員

社長補佐、
エネルギー営業本部長
大口エネルギー事業部長

小林 剛也
代表取締役
兼 副社長執行役員

社長補佐、
エネルギー生産本部長

前田 忠昭
取締役
兼 常務執行役員

資源事業本部長、
監査部担当

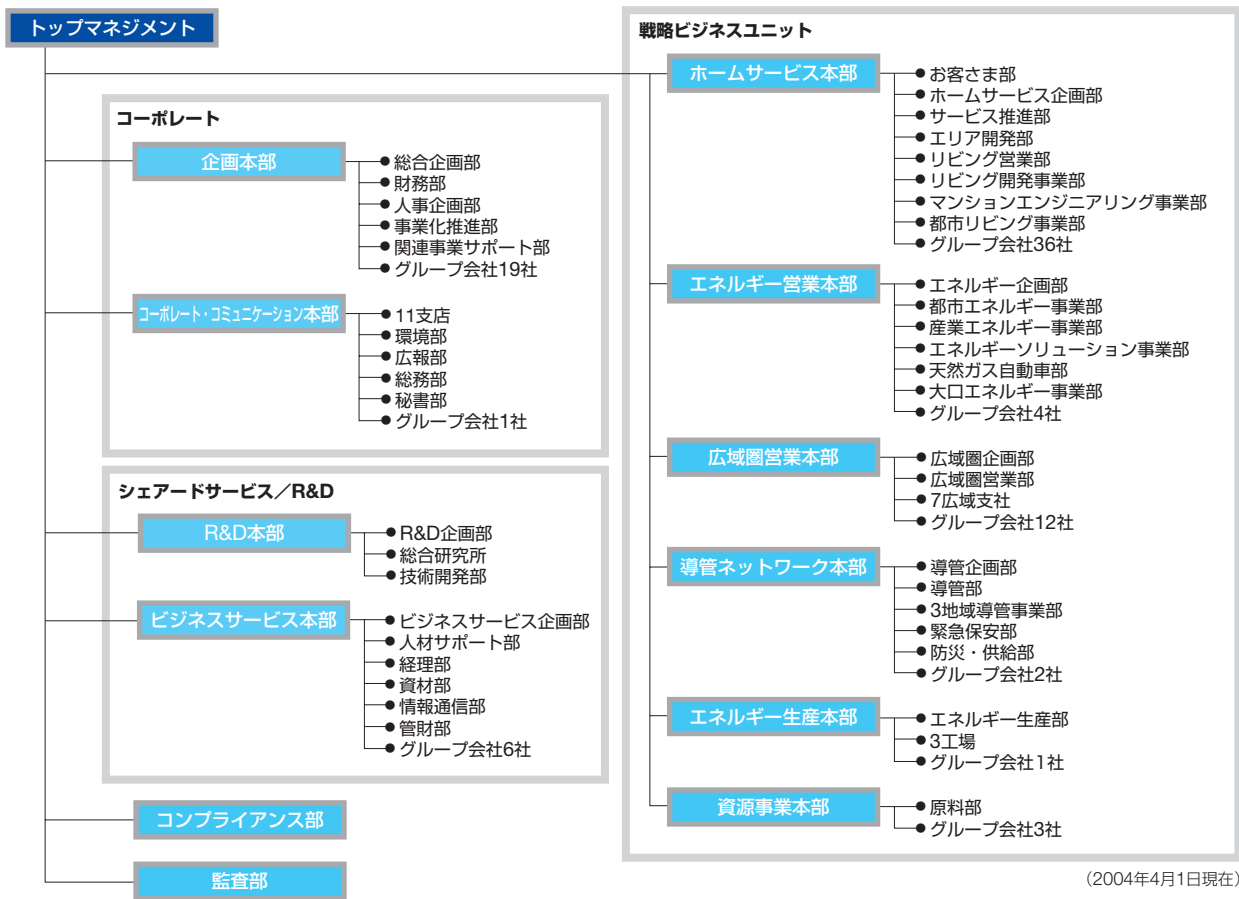
國富 隆
取締役
兼 常務執行役員

ホームサービス本部長

岡本 毅
取締役
兼 常務執行役員

企画本部長

経営体制



執行役員および監査役 (2004年6月29日現在)

執行役員

社長執行役員	市野 紀生	
副社長執行役員	鳥原 光憲	社長補佐、 コーポレート・コミュニケーション本部長、 コンプライアンス部担当
	草野 成郎	社長補佐、エネルギー営業本部長、 大口エネルギー事業部長
	小林 剛也	社長補佐、エネルギー生産本部長
	石黒 正大	社長補佐、ビジネスサービス本部長
常務執行役員	前田 忠昭	資源事業本部長、監査部担当
	國富 隆	ホームサービス本部長
	岡本 毅	企画本部長
	土生 哲	(社)日本ガス協会常務理事
	手塚 俊夫	広域圏営業本部長
	杉山 昌樹	導管ネットワーク本部長
	村木 茂	R&D本部長

執行役員	今沢 時雄	エネルギー営業本部コーディネーター
	中西 誠一	ホームサービス本部副本部長 兼リビング営業部長
	奥澤 泰一	神奈川支店長
	星野 則和	ホームサービス本部副本部長 兼お客さま部長
	鍋木 正	産業エネルギー事業部長 兼大口エネルギー事業部長代理
	蟹沢 俊行	総合企画部長
	森 邦弘	エネルギー生産部長
	蛭間 泰弘	広報部長
	大谷 勉	都市エネルギー事業部長 兼大口エネルギー事業部長代理
	板沢 幹雄	導管部長
	広瀬 道明	(社)日本ガス協会業務部長

監査役

常勤監査役	秋元 壯一郎
	平井 浩
監査役	根本 和夫
	花房 正義